

典式日念記認承

一企圖

態度に最同の動向は極大イタリーが中立的能 であるがらであるが にイタ順等還に成功を によるボーランド であるがらであるが がらであるが がらであるが がらであるが がらであるが がらであるが がらであるが がらであるが

のではないかとしてゐる 一般は不可避の狀態に立 一般ないかとしてゐる

林野局長、史法 、東京國道」馬政局總務部長伊藤京國道」馬政局總務部長に就任することに 北之助氏は今回滿洲國林野局長井上俊太 なり滿洲國林野局長井上俊太 なり滿洲國林野局長井上俊太

次郎氏 十四日大連

あるが十四日外務省では歐洲 の交戦國は勿論中立國への旅 行者で特別の用務あるもの以 外には當分の間旅祭發行を差 整へることになつた

▲橋都貞一氏(商)同

《川光一氏(會社員)同

《一川光一氏(會社員)同 で尾宗文郎氏(建築技師)同門自古氏(第工協會)同

▲星原實氏(昭和製鋼)同 ▲中川久古氏(食配員)同 ▲中山辰雄氏(官吏)同 ▲除株吉氏(會配員)同 ◆務秘純平氏(遼陽商工會理 事)同 「新松純平氏(意麗商工會理

政介氏(禁護士)同長)滿濛ホテル長)滿濛ホテル長(曹武長)同民氏(世樂技師)同正夫氏(世樂技師)同正夫氏(問)同正人(同)同

一線十ス た兵地ケ目ス 活 2 絶 3 に こス森の、の四政パ 若にを下軍パ動ケ兵軍バ れ軍林活天職日府リ 干前以の司リをン縁司リ

日子の一大学を修ります。 一大学 を は に 1 日子の 1 日子の

下を捕虜とせる旨設表したの間がイツの一般の間により強力なるの間がイツの一般の間がインションとは一個の間が一の一般のでは一個のでは一個のでは一個のでは一個のでは一個のでは一個のでは、アランスでは一個のでは一個のでは、アランスでは一個のでは一個のでは、アランスでは一個のでは、アランスでは一個のでは、アランスではない

师國

マニア空相

は重他の砲撃を開始に重他の砲撃を開始がある。る機械

【ヘーグ日十四日張園通】オランダ政府は十三日オランダ 関内に不降着せるドイツ軍水 上機を鹵獲せる冒次の如く競 表した オランダ沿岸監視像は十三 日アメランド島附近流上に 不時着せるドイツ軍水上機 で観り、國際法に基ま であにこれを鹵獲乗組員一 であにこれを鹵獲乗組員一 和蘭領不時着の

は頗る重視されてゐる 獨機鹵獲さる

瀬氏(新海勝大教授) 神氏(大學教授)同 古氏(同)同 古氏(同)同 古氏(同)同 一郎氏(宮吏)同 一郎氏(常識出)同 一郎氏(高来テル 一郎氏(高来テル 一郎氏(高来・同 一郎氏(高来・一) 一郎氏(高来・一)

往 一张

東亜の建設は進む ○、内外事象の變移に感慨は その日ノ

船臨檢

人旗を揚げ











英佛兩國政府 英佛兩國政府 受するため如何にすれば經濟的狀態が調整されるかにつき檢討することもでその中へは入らない、しかして和平を討議する場合には各國が世界資源から府はその信賴出來るドイツ政府とならば和平交渉に應ずる用意がある、但 更情報省コ

可能 可能 で を登表

山國が犯された

希獵汽船矮沈

・ 佛國宣教師H・Sピ

戦乱の欧洲へ

情報省は英國海

イラー副領事、歩兵 機関の急に触せる

は一等八十三名。 一等八十三名。 一等八十三名。 一等五十六名と でかの何れかを選中海經由がアフリ であるので多しくも であるので多しくも

米國は直に適切な措置に出

図情報省は十三日ドイッ最大 伊 へ 航行中 ブレーメン戦

共に歐洲各國では外頭人の入

が映員は補充せぬものない。

日現在東西戰線戰

- 話しナポリに向け出帆したが - 動を興へてゐる

を抑留臨験した旨つ

向貨物陸揚さる 音音が な英音で な英音をしめられたと でもとしめられたと でもとしかられたと

佐渡丸積み獨逸 動きとに陸場げきしめられる場合 ありといは地今後の大連復名 しして十二日同じく大連を出 とに陸場げきしめられる場合 戦別向け貨物総送に一株の暗 を複載してあるが去る十日動 とした信祉音楽丸(八千トン) ない澤である なので間類な ない澤である で間報と である で間報と であるがまる で間報な ではない で間類な で間類な で間類な でで間類な でで間類な でで間類な でで間類な でで間類な でで間類な でで間類な でで間類な でで間類な ででしる。 英、米國船を臨檢

~がよい 黄昏と比

道を堂々と進み行く

はしいは都は

宇治茶と世帯道具の

三商

神職は一番を表す。神職の一番を表す。

解を開く

表(石川サイ)二、 代表玉串率奠順序一 代表玉串率奠順序一

神田文化協會では十六日午後一時から同會會議室で遠代監視寫寫眞を展覧に供する、なは同三時から右寫眞撮影に高った杉本、山本兩氏を中心に座談會を開催する。

英麗は一萬餘柱となる複様でもれ祭神下皇、皇后兩陛下には 現しく靖國神社に行幸啓あらせられ祭神に御拜禮あらせられ祭神に御拜禮あらせら を進めてをり、近く上奏御裁 で伸ぐ筈で今回合祀される

東京関通』是き建りでは満 東京関通』是き建りでは満 東京関通』是き建りでは満 東る十月十七日第花薫る靖國 東る十月十七日第花薫る靖國 東る十月十七日第花薫る靖國 東る十月十七日第花薫る靖國

正の通りである である、十八日の祭式文 である、十八日の祭式文

(八時 五十分)

英靈 に 感 謝 彌 P 增

九時から執行

一、服装 「▲陸軍軍人は軍獨 の軍装とし一般に略級を無 用のこと、其他の方は右に 理する服装を立さざること 本が送りしました標識は式

事變配念日に女給さんの職 京観光協會では當日を英霊感 京観光協會では當日を英霊感 京観光協會では當日を英霊感 が発揮者のためにお花、 に 線香などを用意し便宜をはか ることゝなつたが、市内各カ フェーではこれが趣旨に質同

戦跡参拜に 花を用意

新京觀光協會

パス(観光協

醫師

應拨依賴

禍の大連

日午後十一時から十四日午前七時までの間東三條通五六土木請負柔西田金次郎さん方裏 タイ ヤ盗まる

バル

領取されてゐるのに家人が氣間(時價四百圓)を何者かに 留守中、現金二十三圓 道でバッタリ

響原田、財前南刑事が

北支水災救済に 瀬鐡から 七萬圓

日滿商事株式會社內新京大同大街三〇二號

連某方面に飛ぶ模様である 一政府では痛く感激夫々教育の金を臨時政府に送達したが同か長緊忍氏より七千圓の教済市長緊忍氏より七千圓の教済 目有の水災に對し南溝洲鐵道(北京十三日發展通)北支末

足球大會代表

金由 品自 日滿商事株式會社

炭 例 節

三、賞 十月十日(當日迄に到着のこと)
十月十日(當日迄に到着のこと)
十月十日(當日迄に到着のこと)
一人選作(五名)……各重 拾圓
一條(十名)……各重 拾圓
一條(十名)……各重 拾圓
一條(十名)……各重 拾圓
一條(十名)……各重 拾圓
一條(十名)……各重 拾圓 庭又は工場に於て折うして石炭を節約したがける石炭消費の節約は態々緊要となってだける石炭消費の節約は態々緊要となってのでは、少量ので配約。100円の一段、學園で節約。10円の一段、學園で節約。10円の

一、 年齡 二十二、三歲位 一、 年齡 二十二、三歲位 一、 對務 庶務課見習及校正課是智 不 一、 對務 庶務課見習及校正課是智 一、 對務 庶務課見習及校正課是智 一、 對務 庶務課見習及校正課是智 滿洲行政學會人事課

ダツ 會社製 定價 集の 一、 至格 高等小學並中等學校是一、 年龄 二十二、三歲位

の価格の低廉なるに反 特 圧能は全くライカに 長 店 支

南昌線モドルとした。 護國の英霊を祀 カ三十日春季恒例祭以れた半七日午後五時から、以が祭典委員長となり 心靈塔秋季例祭

大学 (本学年) 職東軍参謀長) 表(海軍武官) 代表(海軍武官) 代表(海軍武官) 代表(海軍武官) (大表(海軍武官) (大表(海軍武官) (大表(河 (大表(河 (大表(四 (八表)一〇、帝 (八表)一〇、帝 (八表)一〇、帝 (八表)一〇、帝 の方は左の事項を熟讀の上細心得が出てゐる、祭典御參列向祭典委員から左の通り參拜 仕す 経済をとし概ね十二時以降 出下さ 終了後とし概ね十二時以降 出下さ 御列拜

駐職は職物であらう 碧空を載つて天空に研

鴻大なること、第一線粉兵の 限りなき勢苦とに感激し、郷 られる零網なる作業賞興金戦 は所持せる預金中より特に献

よつて同監慰横山副長はこ 百五十四名の献金七十九個 二十銭を収鑑め闕防献金と して十四日治安部大臣宛献

靖國神社招魂式

七日執行

監獄から献金

金を申出た

人の妙技に

>

深某ほか一名を本臓司<u>株</u>科 をなり十五日同局幹部 ではなり十五日同局幹部 ではなり、

消したこと自白余罪追及中 湯音機は九十圓で古物商に曹

技會

調べ中である、緩本の角機本を抑牧し引練いて軽いて軽いている。

ロピックン

年前九時から見玉公園誠忠碑 が軍犬訓練競技會々は十五日 が軍犬訓練競技會々は十五日

した、いづれる平薬線へに緩 へた優秀犬、全滅戦技會出場 を目指して搜案、前進、障害 の三種目に妙技を繰り展げ午 の三種目に妙技を繰り展げ午

さてどこへ持つて行く 定直にこの旨を發表した かっ

優勝牌返還の後高田審査長に對し感謝の默爾を捧げた 入場式に次いで一同最發軍犬

監督の管家士

郊外に殺人事件 対外に殺人事件

表を着し白短靴をはき黒中折 を練が傍らにあり、鎌線の 別器で頭部を斬られた傷痕あるが身許その小は一切小明である

預り金を横領

女給ご逃ぐ

のだと得して現金一

しみ直ぐ様

知り、

| 数に第十二回國際オリムピッ 「乗急會議を開催協議の結果、 至の情勢に直面し遂に十四日 ロ

歐洲に戦闘勃強以来も、なほ【一んシンキ十四日殺闘通】

のため延期してゐた滿拓公社 日午前九時から見玉公園内 裁場で開催若し又雨天ならば 中止する 記

B

▲模型飛行機競技大會 於新 京飛行場午後一時 前年前九時より 位化整書複寫展覧會 大奥 ビル される。される。なれる。なれる。なれる。なれる。なれる。ないのが製品が夥しく出陳される。ないのでは、からないのでは、からないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、 (十六世)

猥本を印

無可法料では同場先を内偵 れてゐるのを操知した首都書 れてゐるのを操知した首都書 になるのを操知した首都書 幹部も關係の模様 刷され

屯瀬去る

瞬ることとかつたが、

千里の一十五日の名字を狙つて持二十五日と十五日を現金に替へ その途中高橋氏に手渡

施計秋季大祭十五日は朝来ど 験はつた脊宮祭に明けた新京

れ渡つた寒凉の秋晴れに悪ぐ

■(東京)木村友然へへ・三〇溴花節ニ 生なる放送

逃走の妓女逮捕

記念日に當りて」(東京)

で保護し十四日午後選去した 事年七十 事年七十 事年七十 本任書太郎氏はかねて氣管支 を保録し十四日午後選去した

世中上で居ります

請 0

青 ***

面至 會急 日履 歷書携帶本

者優待割引

者優行割引

新京日日新聞社

新京日日新聞社

十十九日日

酒井雲若一行

B

ラストの

の新

せら、一の二本立、松竹香組の方が

は監督フオルス自ら主役を勤め、オルガ・チエホワ、新人め、オルガ・チエホワ、新人の名作によつて成功したのスの名作によつて成功したの

物」を監督

芳郎氏は入社以來「富貴春夢色者、現滿映脚本係主任荒牧

本鄉。神滅館 生じ易き日

グリコ

ウダ

製法特許

國策線に副 との代用品

清株式店 出 高な奪い孝心を描く絢爛篇 横丁物語第三話 大切 敏 # 15 東浪さた 巨世 主胸 るに 一二モレセ日

!! 員動總よ

の娘養花の海上、時間、イヘイタ

0

別が吉 市が吉 日となる が表示に心を でいる。 でも本 でも本

司 Ł 屋 便 き鳥 なり壽司 uj ·話③六人〇七番

ましたい する為 株式會社 日日 新聞紙 きまして 0 しました御不便の點も有之事こ存じま 方針に依 を以て御挨拶申上ました通 五日限り掛賣扱な廢止、總て現金にては今後事務の簡捷を圖り配給の圓滑を UJ 新組織の當組合を結成致し 炭 販 ◎黄 九八七組 TEN 合



りと確を起すと、

何かしら光るものを射出い唇、腫かくるとした鼻筋、心がツくらとした鼻筋、心をでいてなくが、

建議したのだが――まあ、何 では 族本の二三男を選りすぐ には 族本の二三男を選りすぐ

がれてしをやりをる

意 編 (一) 出来花が、しほらしく吹い山来花が、しほらしく吹い山来花が、しほらしく吹いてある。それを関めで、箱根をが一面に上飛石が、ところどころに黒ずんで見える。 腸管りのいる機関から、さらした庭の一部分を囲てある人かと思へぬほど、のん 近 金田山田

(四)

では、あの男の値活な動作 が、どうも氣に入らぬのだ、 連規されるが健は、あょいふ 理用されるが健は、あょいふ 勇

商

海外經濟電報

8,11

前去場片

况

各地商品市况

歌座十次

(不機嫌?)
さう思コて、熟る悪る、顔を見上げると、いつもの通りの和やかな眼の光りなのだ。
『恐れながらー』
十兵衛が、安堵して、何か云はうとしたとき、周防守の方から、
『すぐ柳町へ使者を遺せ』
『は、小日向の一でございますか』 「栞の資投・鑑筆式株

百

激に云つた。

が……」

で、くるくると値かに動いてなくびつたりと限をつよつである。だが、騒の裡

九

一生工十九現 一生工十九現 一生工十九袋 月月月月月 《月月月月月月 《月月月月月月 限限限限限物 豆限限限限限物 豆限限限限及入 各地特産市况 1

なり烈しい火花が感じられる 関防守の肚では、あきらか に、清川を非難し、挟撃して あるのである。

用人の十兵隊は、何と答へ

1合合金条件

OA.

唐娘の問題 の問題子 を選手

1111111 1111 111

▲東京株式 (短期)

女の教室 6,35 12,54 2,3 11,80 3,20 7,25

而都キネフ 加 12,17 2,55 間

吉堅甲一丁目 電話 35977.5604.4208

孫 悟 空 11,00 2,35 6,20 - - - -11, 20 2,55 6,40

處の

演開時六後午

苦悶するヨーロッパ

朝 1,30 6,0 2, 10 6, 46 座

荒神山十人衆 12,45 4,30 8,15 税金共55セン

映画御架内 豐果馴湯

おの味 一付し出赤んでお食定

11,57 3,28 6,59

洲 割冠桂月紫 は



構にな

[]單[]]



特約店



配

淋 金 樂生堂HS線新京療院 一般慢性病專門 疾 治療法によられ あ



0

新 ジッ

ツジュミ

本 定規會本 常時向緊縮經濟讀書の秘法 京新 第一回の配本より 御入會は何時でも出來ます 書 0 立 誌費 毒 七册を以て 完 一ケ月 商同 香香 香香 香香 香香 全 七 圓二十錢 ○八二 九〇二

ル河とザール地方の、英國派遣軍が は十四日はじゅ

方がめ日

の受て發間侍マ國

のでその要旨は左の如

部

イ・P電はドイツ官連より入イナ方面に向つて進撃中のドイナ方面に向つて進撃中のドイツ軍東方作職部隊は同日迄の職闘に於て十萬人以上のボーランド人権度を收容した皆

皇帝と御對面 インザー公は故國の急に特に 許されたが十四日午後皇帝ジ 理されたが十四日午後皇帝ジ 時間題が楽でウインザー公が 結婚園を後にされた、結 が楽でウインザー公が

到

THE PERSON

印稿發 刷解行

介勇忠 〇五社 極甲板

體

たっています。 でイックでは、 でインでインでインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでは、 でインでインでは、 でインでは、 でんでは、 で

| 大阪東京司令部は英國側の對 イッ海軍司令部は十四日選に | 大阪東京司令部は英國側の對 イッ海軍司令部は十四日選に | 大阪の海上封鎖の英艦隊に對し直ちに出動 | 「大阪の海上封鎖作職に對比出動命 | 大阪の海上封鎖作職に對比出動命 | 大阪東京司令部は十四日選に | 大阪の中立大阪東京司令部は十四日選に | 大阪の中立大阪東京司令部は十四日選に | 大阪では | 大阪の中立大阪東京司令部は十四日選に | 大阪では | 大阪の市立大阪東京司令部は十四日選に | 大阪では | 大阪の市立大阪東京司令部は十四日選に | 大阪では | 大阪の市立大阪市の地域の | 大阪市の地域の | 大阪市の | 大阪市の

るといぶのでソ聯官憲も事態を類る重大視してゐる、なほを類る重大視してゐる、なほを類る重大視してゐる、なほか、通信社はボーランド空軍の力が一、ボーランド飛行機數毫は十二日次の如く十二日ウクライナおよび自中ンアの方面においてソ聯ロップの方面においてソ聯官憲も事態

「南昌十五日参國通」 の成果を擴大

職能学生を関係者等のである。 一個の下に職能受験合は來る十月一日会 一個の下に職能受験合は來る十月一日会 一個の下に職能受験合は來る十月一日会 一個の下に職能受験及院講堂とになった。 一個の下に職能受験及院講堂を開始を求めることとなった。 一個の下に職能受験を開始を表して、 一個の下に職能受験を開始を表して、 一個の下に職能受験を関連を表して、 一個の下に職能受験を表して、 一個の下に職能を要素を表して、 一個の下に職能を要素を表して、 一個の下に職能を表して、 一個の下に、 一個の下に、 一個の下に、 一個の下で、 一面の下で、 一面ので、 一面のので、 一面ので、 一面ので 往來

洲滿

湍

治安部醫務可校閱輯(東打灣編章)

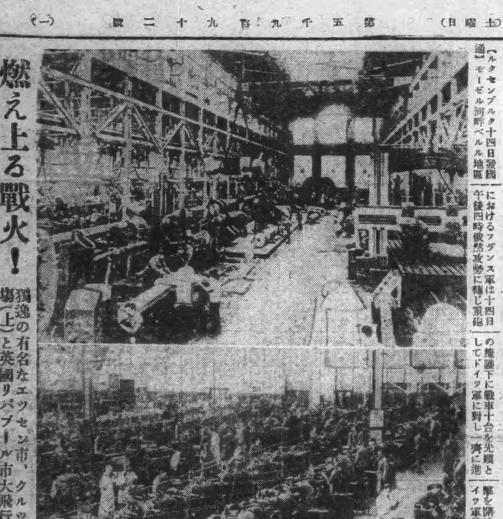
育都警察廳調

法令牧戦(滿日兩文) (選科各里士) 経等申請書例並關係 定價、特回圖、一葉里の他問題、節本、臍本、酸明、 豆記申請 書例

『法常松田徳雄氏著(新判練クロー 高

登錄登記一片。

松 田 德 雄 氏 著 『焦部事務』 最新刊 京新 大同印 行發



獨軍鐵橋を燒破退

であらうと信ぜられてゐるの戦野しないが一般にマデノ線の西翼モーゼの戰線が果してごこであるか判明しないが一般にマデノ線の大きによれば、英國陸軍の先遣部一通」バーゼルのフランス人筋に入つた情報によれば、英國陸軍の先遣部

揮 載波 :R 8一十月九

「ルブリン十四日酸 電局の酸表によれば目下の 電局の酸表によれば目下の で、ドイツ軍はワルツー も砲兵隊の護河はの表型に た成功セジドイツ軍間の を心がの通り酸表によれば目下の を心がの通り酸表した に成功セジドイツ軍機が化部隊はアルツー をできる。 ではあらざれば到底ワルツー をできる。 ではあらざれば到底ワルツー をできる。 では、アルトル河を護河サン・ドニ エマサン河を護河サン・ドニ エマサン河を渡河サン・ドニ エストル・河上流方面 できる。 できる

▲山村雷氏(法政大學經濟局 部長)十五日東京ヤマトホ が長)十五日東京ヤマトホ 一名高橋敏英氏(大敵省官吏) 同 一個課武氏(會社員)同 一人式村義雄氏(同)同

功勞

第九回發表

中华

を を を 強げた 根布札布 なほ なる。なほ

賜柱國章(各通)

(康、五、八、二) (東、五、八、二) (東、五、八、二) (東、六、七、二) (東、六、七、二) (東、六、七、二) (東、六、七、二) (東、六、七、二)

冷姿部及び地方に関し

⑥訂正替のみ二間三十銭

を以て改版區域訂正、新臺本出来 浦日支警察界必備の書、廣大なる補州機

区域便貨 (品除式

東洋土産品博へ

観光協會が斡旋役引受

る。ズ

業部訓令

本の は新京商工公會及び土産品組 の手織を終れるが、出品物は一應 は新京商工公會及び土産品組 の手織を終へ會場宛客車便を とは新京商工公會及び土産品組 の手織を終へ會場宛客車便を 合と協議の上、各地観光協會 以て急送されるが、出品物は一應 以て急送されるが、出品物は一應 以て急送されるが、出品中新 に呼掛け全浦的にこれが出品 京の刻磁器はさきの閲展に特 に呼掛け全浦的にこれが出品 京の刻磁器はさきの閲展に特 に呼掛けを補助した。

中の統制に闘し十五日

ゲ・ベ・ウ凝視する

が、一行に假窓の宿を提供して多い。これは殆ど全部満人の表対になつてゐるのである

て特つてるたんです と手具座 なんだんです

浦便側にその設備を誇示しまりを通り過ぎるときトロット

にする標語でのま2の生活が

勝の宣傳政権を誇示しや

國境を征く赤十字

(三)

の長男の妻君も混血児であつてくれることになつた村長も混血児を妻女に持ち、またそ

浦赤施原班に開件して

寺

慶

村長は甲長を乗れでをり、 管つて下流の佛山縣城が爬城 をよく抑へ治安維持工作に多 た協力、民心の差導に畫した に関けれたとき動揺する氏衆 をよく抑へ治安維持工作に多

族でな

大大大学では第三位では第三位では第三位では を受け続きしてるが、 では第三位であるが、

達手があって

する楽しみ

からない。

●大連株式(短期) 素付 大 素付 大

說

H

満商事を機關に

るのと強想して大陸十一月一行政的準備が遠からず整備す行政的準備が遠からず整備するが、要品目を追加してその許可制要品目を追加してその許可制度。 大臣の東高の大臣の表記を受くべきこと ・ 本人臣の大臣の表記を受くべきこと ・ 本人臣の表記を受くべきこと ・ 本人臣の表記を受くべきこと ・ 本人臣の未認を受くべきこと 大、監要部大臣必要ありと調むるときは養置差損益金の別金額立を命ずることあるべきこと 石資置差損益金の使途については産業部大臣は養証を保護については産業部大臣は養証の指示に、 後ふべきこと。 一次二乃至七に重く命令者は

を取消すことあるべきことがなが、二乃至七に重く命令若はいては産業部大臣は本指定いては産業部大臣は本指定とは、二乃至七に重く命令若は

既存業者靜觀態度 び杏仁資漁の保護 津英租界か 抗日分子庇

日午前十時半より上本部に開かれた。出 國シモン少佐、米園 シモン少佐、米園 大佐、工部局ライリ 大佐、工部局ライリ

ツバフィスデー

山西省肅清狀況

取締役社長

皆川多三郎

よソ参謀長以下動十名を現場 に出動せしめ双方動物し強悪 に出動せしめ双方動物し強悪

我方引渡

方に潰走せしめたり、一大威便品若干

一、現在の上海共同を全官機并少將も陪席、

機中のわが兵が發見 としめんとしたのを同 としたのを同 は十四日に特越しとなり目下が英側の不信態度にわが方は 鄂城南方の

《上海十四日登園通》中支軍 報道部澳口支部十四日午後四 時發表=

中二日午後二時約二百の献十二日午後二時約二百の献 をるを課知せるわが○○ しをるを課知せるわが○○

敵匪を剿滅

上海共同租界

成されその後一九三四年に改 一員會を開くこと、北上午後零時 一人のでは、現在の上海協 たところ。

(北京十四日致國連) 華北 一四 華北 交通第一回 た、敵道栗死體である。別百の共産軍をの政策鎮附近の共産軍を



學藥品を統制

の間に平衡資

歴票部大臣の関可事 に収買させその収買 の上處建機關をして の上處建機關をして

公舎當局想 時局の要請に照應して精州國 の裁領經濟は益々強化されつ つあるが、新京商工公會に於 ては業者の立場より種々統制

指導等を行はしむを設立せしめるを設立せしめるので設立せしめるので設立せしめるのでで設立せしめるのでは、

統制強化で商工

常務取締役 常務取締役

小川政之助 龍雄 正已

日韓エキスを領し

せしめ

事かは者なのほ給法 と今後若し必要あるときは之 は輸出の増加をはかることと は輸出の増加をはかることと

滿洲大倉所 制品目中に追加の機

倉務事株式會社を創設、本社社は今回滿洲國法人、滿洲大社は今回滿洲國法人、滿洲大

仲介料買付手數料

明示方を要望

一十名出席して時局經濟懇談會 「相加索訓查科長、松井特蓬科長、石 田物資訓查科長等を十四日午 後二時國防會館に招き商工公 會側よりは丁曾長、高橋石崎 南衛會長以下理事、參事等數

ル 中部に左の人が就任した 常務取締役 を上襲するさ 一〇に在るが近く市内就町三 一〇に在るが近く市内就町三 一〇に在るが近く市内就町三 一〇に在るが近く市内就町三 一〇に在るが近く市内就町三 一〇に在るが近く市内が町三 一〇に在るが近く市内が町三

しての供給を確保し併して農 家經濟の向上及柱鑑工業の發 、家經濟の向上及柱鑑工業の發 、大学の一元的取扱機關とし し其等の一元的取扱機關とし

鑑み重要物質局である作識湯洲國繊維資源不足の現状

滿洲作聲株式會肚設立

東京 (1) 十二日 東京 (1) 1 東京 (1) 1

中南支戰況

性と再般 男子の滞続が後本的に至満 この恋(佐)・湯道が泉道新襲 この恋(佐)・湯道が泉道新襲

1 出

各地株式市次 後去

高生・なかなか味なことを やりをるわい、おーい、語 かあの船を捕まへて来い、 変美に一週やるぞ…… と日本警官が望樓の下に突つ 立つてゐる演系の部下に向つ で怒鳴る

、誰を

不語教授まで推賞してゐる際関境警備の重任を遂行する

治 三 茶

自 m 人

種鬼分讓

金種當場

白色巨大調、

T (10

田

全聯上程に決し

た

識案の

提

出

第三部 (國民動員の完)

(出 曜 土)

の無料交換制度採用に関の無料交換制度採用に関

(率天省聯提出)

を思考する。 も速かに善處すへき重要事なりと思料す 特別手の無料交換制度を實 一、豆滿江護岸工事に翻する 件

協和住宅廿二日竣

住宅建築へ

理由
理由
「国連工治学に位置したる
関山屯は完全なる提防なき
に発力の一多り昨年の如き
は全計物の三分の一迄浸水
せられたり
せられたり

容 よろしい。協和精神に依 る政治とは官も民も共に協 の想を述べ官に知らしめ。 の想を述べ官に知らしめ。 間 にたる立場に於て、民は其 間

間

さんとするところを民に知らしめ、官民一體になり建らしめ、官民一體になり建 を以て、心を盡し思をつく して協議した上、議場一致 最上最善のものを採り之を 實行する政治を云ふ。 實行する政治を云ふ。

はなり、 高和書の司 はなり、 高和書の司 ではる政治とはどんのか。 簡単に仰言つてい。 協和精神に依ろしい。 協和精神に依い。

答 特別市及市の諸議會は、 答 特別市及市の諸議會は、 特別市及は市の重要問題に 付特別市及は市の重要問題に 付特別市長又は市長又は市 長の諮問に答申する役目を 持てるますから民意を最も よく反映しなければなりま は人格識見高く、民衆の興 は人格識見高く、民衆の興 は、新部會の首都 本部や市本部は特別市又は 本部や市本部は特別市又は 本部や市本部は特別市又は 本部や市本部は特別市又は 本部や市本部は特別市又は 本部や市本部は特別市又は

になら以前に、佐事事件に付訴訟になら以前に、佐事事件に付訴訟になら以前に、佐事者の話をとつて居ります。 尚法院をとつて居ります。 之を調をとつて居ります。 之を調をとつて居ります。 次を調をとって居ります。 次を調ける選ばれますが、との要はにながし、協和會の各本部が候補者を推薦してるます。から云ふことは協和会な方式が候補者を推薦してる本部が候補者を推薦してる本部が候補者を推薦してる本部が候補者を推薦してる

政治的組織體であると同時 を活を夢くし美しくする意 生活を夢くし美しくする意 生活を夢くし美しくする意 生活を夢くし美しくする意 性活を夢くし美しくする意 に、様々な事業を爲す組織 をしたで第一に協和精神を 人民に徹底させ、諸民族が 人民に徹底させ、諸民族が になどに仲よく暮す機に導 になる。 でから協和 を なる。 でから協和 になる。 でから にかる。 でから にかる。 でから にかる。 でから にかる。 でかる。 でがる。 でかる。 でがる。 でかる。 でがる。 でかる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でかる。 でがる。 でがる。 でがる。 でかる。 でかる。 でがる。 でかる。 でがる。 でかる。 でがる。 でが。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがる。 でがな。 で

協

和

會

問

協和精

和精神とは何か

代表百七十名決定

た空間に集めて態よ三日より高ぶ八日間に亘り協和會中央本部講堂に開催するが 空期し準備に大童の活躍層本と整備しつムある、本會議 で出席する晴れの代表定員百七十名も既に決定それぞれ出

三、昨年年代 三、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年年代 一、1000年代 1000年代 1

板替新京三一二六 龍町二(キネマ前)

多ろ

果期待

の素質一段と向上

記しま

鬼心儿

かなければなりません。そして君に忠ならす様に導いて行いたければなりません。そして君に忠に國を愛し、別はに仕へ隣人をしても、社会人で個人としても、社会人で行くと思いてもり、双方納得する様にの間に争があれば之を聴いてやり、双方納得する様になりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。要するに人民なりません。とこともしても方ればならないのです。

(龍州省聯提出) 西岸堤防暗楽に関 負擔を以てする

利利 て政府と表裏一種となり 一、建國精神を順揚し 一、関民動員を完成し 、関民動員を完成し 、関民動員を完成し

一、宣標證情を飲眠し

無国一致の質疑組織値とし

道義世界の創建を期す

四、数化的組織體として の協和會が發治的組織體と して爲す活動は判りました が、尚外に協和會の否案は何が 事はどんなものですか 答 協和會は精神的組織體と 取治的組織體であると同時

で、石幌、京の護岸工事

一般に解放参觀せしめる 大學高事排 球戦 大學高事排 球戦 大学高事排 球戦 大海は来る十四日新京に於てて大満洲帝國排球協會主催第一の項は次の如くである。 本出場資格 専門整校以上の學校にして當該學校以上の學校にして當該學校以上の學校の一人、選手十二名以內 人員 監督一人、選手十二名人員 監督一人、選手十二名人員 監督 一人、選手十二名人員 監督 一人、選手十二名人員 11 日本 12 日本 12 日本 12 日本 13 日本 14 日本 15 日本 15 日本 15 日本 16 日本 1、方正縣伊漢通碼頭を修築すること。通化縣護岸の修堤未完了の一部を繼續完成せしむること。 東川縣大震盃江岸を修堤すること 京出發 胸河の西岸を骨築せ したの利害観念を に戻蔵相依の産業に 物の配給間滑方要 の性器質對策の件 関連善處方の件 C三江省聯提出) 石岸護岸工事促進 を終っ、合安縣と連接。、合安縣と連接。、合安縣と連接。 での場所に低くし での連絡を での連絡を がの連絡を ができるる状 での連絡を ができるる状 時節尚事多式 不少門向 特别 電の六六つこ 電白五八の七 鍋物 P 五四三三(3) 話電

號 二

協利 曾全聯開催に當りて (一市民) 横からして此協和會の経緯の長は等しく力 位いハッキリしたものであつ 強く感ずるものである、然るにソレバ最近では入に此協和會の組織の根本であ 童式に成つので無いかと思はに此協和會の組織の根本であ 童式に成つので無いかと思はに此協和會の組織の根本であ 童式に成つので無いかと思はに此協和會の組織の根本であ 童式に成つので無いかと思はに此協和會の組織の根本であ 童式に成つので無いかと思はには協和會の組織の根本であ 童式に成つので無いかと思はにはいるのである、然る た、然るにソレが最近では入には協和會の組織の表示。然る た、然るにソレが最近では入るのである。然る た、然るにソレが最近では入るのであった。

を以に町内倉長を任命し民 と、全域郡合協議会にあっては、 一、全域郡合協議会にあっては、 一、大蔵田に関する政部を信めては、 一、大蔵田に関する政部を信めては、 一、大蔵田に関する政部を信めては、 一、大蔵田に関する政部をであって、 一、大蔵田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 一、大田による。 ・大田による。 ・大田

有提出職条

2多集提出議案に

ち三年海

完白いるる

円少年義勇軍

間し、その實験住宅として協 管的と生活の合理化を目標と 生の新様式として協和會が提 をの新様式として協和會が提

二日竣工式を舉行、續いて一 て迎へられてゐる 和會首都本部では本年六月上 般に帰放登職せしめること 和會首都本部では本年六月上 般に帰放登職せしめること 和會首都本部では本年六月上 般に帰放登職せしめること 4

なぜ三肥るか

季節の榮養科學

ものが横にひろがるといといふことです、上へ他 す、身長と築養の關係は一方 厚な食物を嫌ひ、アッサリと、退しますから肉類のやうな濃としますから肉類のやうな濃

ツ

の埃に御注意

ですつかり排ひ除

者に現れます、からした加へると一層其のな

易い襟、袖口、ボケットの繊 と云つた場所は四鹽化炭素を と云つた場所は四鹽化炭素を と云つた場所は四鹽化炭素を

い食物、飲み物のシミをズボンの腿の部分等につ

したものを揺るために筋肉と なる要素が飲けます、それと 同時に佃煮のやらな小魚願を 紙機鹽類は益々多く骨格の愛 がのびるといふことは要する に骨格がのびるといふことは要する して骨格なる要素の方をよりも と さて此の地質に深く溜つた塵 折返しなどに溜つた埃も除去 けいから しませう は取り分け汚れや る為にはプレスをするのが一 きょ・・・服 汚點が目立ち易い 番良い譯ですが此のプレスは 終め たとす前に先づ地質の中にし んから、洋服を念入りにたゝ ちおとす前に先づ地質の中にし んから、洋服を念入りにたゝ まる か思ふ以上に厄介なことです 此の時、ポケット、ズボンの のか思ふ以上に厄介なことです 此の時、ポケット、ズボンの の か思ふ以上に厄介なことです 此の時、ポケット、ズボンの の か思ふ以上に厄介なことです 此の時、ポケット、ズボンの の と さて此の地質に深く溜つた塵 折返しなどに溜つた埃も除去 する

受けますから筋肉や脂肪の食物の少い所へ强い紫外線の関係は次に裏の骨と紫外線の関係は大に夏の骨と紫外線が多く なか

木

脂肪の 紫外線を 紫外線を まな

sei を受りますから筋肉組織となる濃厚な食物をとるやらになるのです(多と脂肪分の關係は秋も多に近づくと共に寒さも加はならぬ必要から燃烧價のればならぬ必要から燃烧價のればならぬ必要から燃烧價のま成分は脂肪とます、肉類の主成分は脂肪と素白で筋肉組織を構成する主要素となるものですから痩せてゐた身體に肉がつき體重がでるたり、大に主食物である米飯の量も 食慾が増進

経望、米國粉の爲替關係による定庫品の被害、歐洲 高粱

天津の一日本人が研究

地方面の麺粉不足はます(
一地方面の麺粉不足はます(
一地方面の麺粉不足はます(

ために澤山の落物を高ること まっ。食物を多くとつて消耗すっ。食物を多くとつて消耗する量が少くなりますから、當

博藤卷良知氏院

とゝ思ひます(と

宮に産出するだけに生産コートも非常に低く 将來における

ケ年需要總置三、八〇〇萬頃 のうち移輸に仰いでゐた二千 高袋は高粱粉によって補ひ得 るわけである

000

成功 と醬油を各々ばらつとふりかって、丼にいれ、酒と味の素 ずの香りを味ふには他に何も なの御飯です、ほんとうに松 少しこつてりした味に致く方さん方なら鶏肉でも少々まぜ が喜ばれるのす 飯は鹽、酒、醬油、味の素でけてよく混ぜあはせておき御 後は普通の御飯の要領で 普通の清汁よ 松茸飯の炊き方 しかし子供さんや學 松茸をばつと掘り込 した味に飲く方

からで家庭で肝油ーハリバを服み始めることです

動亂下の歐洲に在る わが在外使臣の安否 氣遣 る留守宅の

が関交動絶を繋明、全歌は こゝに血と科學を以てする大 の地の巷と化した、硝煌下の は で

【日曜土》

大外務局では既に別改験愛火た外務局では既に別改験の 事館からは九日「館員」の 事館からは九日「館員」同り が来た、ついでベルリンから は公使館とハンブルダ領事館 風雲急を告げる歐洲にドイッ 公使館理事官として活躍して 必を領遣ふ親心を聞からと清 連を領遣ふ親心を聞からと清 が子の身

地の留守宅に訪れる 大撃で国まれた玄闘に現はれ 大撃澄さんは青い満服にしな やかな姿態を包み心なしか憂

かと本書に心配し とかと本書に心配し とかも母と弟妹達は とがはじめ皆さん元 がはいが、昨日外務

とアッサリ云ふが伴の身を氣 造ぶ親心はその顔がらかくせ ない。そこへ夫人常康さん(四 二)をはじめ中央銀行動務の 次男賢思君(二六)三男八島小 學校三年生の學想君(一一)

ニニンを旅順市明治町州九番 (安集雲氏の長女安慶澄さん) と學思君が家じ顔を代表した

○、二O 談社提

服委で現はれ 権君(二六)が旅順工大の制 といふ通知を載き、

思ひやりを見せる、それにはたで見る目も氣の毒な位

グレコの分がイント大

一つ、〇五(東 奉天)幼児の時

(幸天) 家庭の時間の花コドモ會開め花コドモ會 V 安宅の闘が手が出

間0、二0

かの 00

番組 「新京放送園」

に、しかも氣長にす

大、二〇(東京)ニュース 大、三〇(大連)中等満洲語 鉄 父 固太郎 (大連) の修養 た、五五 (奉天)朝の香樂 た、五五 (奉天)朝の修鉴 伊東 善 吉 伊東 善 吉 リン協奏出 大、二〇(東京)コドモの ア語講座

中、00(東、新)ニュース (新京)告知事項、今 ・ 第京特別市衛生處長 ・ 新京特別市衛生處長 ・ 対京)特別講演 ・ 大三0(新京)特別講演 ・ 大三0(新京)特別講演 ・ 大三0(新京)特別講演

ユーベルを

大大代戦の特質と科學兵器 一五、本天大佐 一五、本天大佐 一五、本天大佐 一一、 映に忍い小唄 一一、 映に忍い小唄 一一、 映に忍い小唄 一一、 映に忍い小唄 一一、 いでとめいて 一一、 かに必めない。 一一、 かに必めない。 一一、 かいためて 一、 かっと、 本所 一、 かっと、 本所

健康向上の秋 ンADを充分にすれば、皮膚や體内粘膜ものです。今からハリバを興へてビタミ 夫で迎へることが出來ます。 の病菌に對する抵抗力が増強され冬を丈 口にかけては、 夏負け、夏やせが出易いお子さまは魔暑季から秋 殊に、日ごろ丈夫でない

り、臭くなく、胃腸にもたれず、どんな肝油鎌を小豆大の糖衣粒としたもの・・・その一粒には 違ひ、天然にビタミンADの濃厚な高單位肝油とハリバは生臭くて服みにくい、従来の鱈肝油と を小豆大の糖衣粒としたもの ひなお子さまでも年中暮んで服みます。 東京・大阪田

肝油は家庭で この鍛錬されたからだを秋から……冬の健康の危險期までて、お子さまたちは充分に健康を培はれたことでせう… 衰へさせぬよう、抵抗力を保持させるには、 海に新鮮な空氣を心ゆくまで呼吸し太陽からの强い紫外線を浴び、山に 新學期の今



T. 2

なる。此所で降りた四人連れ の兵縁さんの、汗に染みた賞 ま の兵縁さんの、汗に染みた賞 ま の兵縁さんの、汗に染みた賞 ま とぎれとぎれに て をい後姿を見送つて、頼もし 出 は は は は に な の に な の に な の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の に の の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 の 。 に 。 。 。 の 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に の 。 でくれる様にと貢賞さ 株け、其の友人が生きで 数に立るがに感謝の 様

出すのは、多分練の切なさが も、同じ時だけど。何故か公 主敬で見る時だけに父を思ひ

書架

(出版組織)

も持たないその青年は、とうものらしい。だけど今の所私ものらしい。だけど今の所私に話すのも面倒だつたので、「錦掘まで」と答べると、又窓の方に眼をやつてしまつたをれに私の斜向ひの座席にいずに薬やかな女が二人るてない事にした。新京のホームない事にした。新京のホームない事にした。新京のホームを立つ時、彼女等が、連れてなんだを見失つたとかで、青なた犬を見失つたとかで、青などの様な少年を叱りとばし こんな事まで氣にする様が、まだ私の旅を樂しむといい、氣鈴が嘘なのかも知れない。 一浮世をば捨てた心で旅すれど行けば何處も浮世なりけりど行けば何處も浮世なりけりなあんて去年の帰作、こんなのないねえ。私が默つてしまったので彼も又歌つてしま 出さない質

好き、私者さな好き、私自分好き、私者さな好き、私名さな好き、私自分が好き、あんでりやいよ、何もりや高んでりやいよ、何もそんなしゃべらんでも! へそんなしゃべらんでも! へそんなしゃべらんでも! へそんなしゃべらんでも! へをしめて上げよう。 なに丁寧にして下さる筈が があなたの本営 があなたそん

老なさん 隨 ゆれ

活 (抗議して) 私は年老り ちやないよ、どうして私を 年老りのパパと呼ぶんだね 年老りのパパと呼ぶんだね たいに擽りつけ) 私言ふわ たいに擽りつけ) 私言ふわ (反つて興がり) 言ひた

ばりわからん、尤も後のなべりわからん、尤も後のな 文つ

古屋信子の「女の教室」が単行本になつて出た。美國な本として大いに宜傳してあるらしい。 たころで當今のインテリ諸君は、吉屋信子と言へばったあんだ」といつた顔をして懸説するのが通例らしい。 であると注者暦を持つてゐることは事質なのである。この事實をわれわれは輕蔑することは事質なのである。この事實をわれわれは輕蔑することは用来以管である。ただこゝに瀉むべきは、彼女の相當に豊かられ場である。ただ言ゝに瀉むべきは、彼女の相當に豊かられば整つた生活の展間を描き出す、その舞合も東京から北海である。現に角彼女のである。この事質をわれわれは輕蔑することは出来以管である。この事實をわれわれは輕蔑することは出来以管である。この事質を力であると注者は考へるのである。とは出来以管である。この事質を力である。この事質を持つてみる。この事質を力であるとは出来以管である。この事質を力である。これが表にもなりにいるの表になっている。

0

高 (後に構はず、讀み練ける)『…でも太陽は私達のものではない、私達は限りたい。」 は後に残された。」 は後に残された。」 は後に残された。」 がわからんな、ちつともわけがわからんな。

潘

「女の教室」を 中心にし

吉屋信子の 小説につい

戲 H

* (単な氣になり) 千字唄 満 (變な氣になり) 千字唄

(可認物便彈通三第)?

(重)

がやあ、私ちなたに小説

内隆雄 で、、私のマフラーをまい て、脚には皮の上衣を掛け て、それからこのゴム袋を 持つて、れ、之で好いでせう なつでソーファにうづくま なつでソーファにうづくま かん、大慶その名前からは白露の手にある木の名

藝消息

る)私あなたが好きよ。あ 活 嫌だよ、私は難きたくなたは本當に私のお突さん なたは本當に私のお突さん なたは本當に私のお突さん なたは本當に私のお突さん なたは本當に私のお突さん (彼女を押しのけ)白露 (彼女を押しのけ)白露 (彼女を押しのけ)白露 (後女を押しのけ)白露 (本を開き、讃む。) し)私あなたをパパつて呼んであ は後に鍵された。」 エス側が昇つて来た、暗ぶのが好きなのよ、私のお は後に鍵された。」 年老りのパパつて呼んであ ほ (後に鍵された。」 なんが好きなのよ、私のお は後に鍵された。」 は後に鍵された。」 潘・嫌だよ、私は難きたくな ・職み給へり私は聞くよへ平で、溜息を吐き)お して見る風景畵であるからかど。これは私の一人よがりかど。これは私の一人よがりか

され 真の屋がある 一路 しまつたらしく、雑誌 に似てゐて邪氣の無い に似てゐて邪氣の無い に似でゐた男が

情(ちるささらに)太陽は出て来るさ、何もさらびつくりすることはないよ。くりすることはないよ。 くりすることはないよ。 はんなに明るくしお、外ではかすかに後が轉つてゐる) 御覧なさい、空いつばいの要なさい後よ!(窓の外でチッチッ!!と催の際)春でチッチッ!!と催の際)春になつたんだわ。(精心の要し、手舞ひ足は路んで)あったなったんだわ。(精心の要し、手舞ひ足は路んで)あった。私者さるかけき、私者さんがおき、私者が好き、私者が好き、私者が

と、「大地」や『 と、「大地」や『 と、「大地」や『 と、「大地」や『 と、こ、で私は、『大地』や『 にある様な暗さは受けとれな にある様な暗さは受けとれな にある様な暗さは受けとれな

/ 表發詞

集募大曲作に並 関百五千金賞 (景一刀本日) 賈臣大塚勝等

風で塵が飛び上る中で美味した苦力風の男の、やけに削り 立ての頭、口角泡を飛ばして 住かじりの端州を論じ合つて もかじりの端州を論じ合つて るた幾人かの洗れ者風の男達 うす汚れた端人達の中で私は なったのかなと思ふ。 なったのかなと思ふ。

よ歌る送を士兵征出

歌選當

名明將治 馬と慰問の **小馬生活の田** 添田さつ

・枚の長篇讀切



満人の主要食料品小麥粉問題 の一つとして曇に協和會首都 の一つとして曇に協和會首都 が含協議會に提案され検討の を本部一任となり幾多割り切 れ政徴みを抱いたまえ今日に 至つたが、これが根本對策を 樹立せんとするタ本年度首都 等會々は十五日午後一時から

十 製解の小製商によってな ・ 現在市内の配給状態は富六 配給の合理化

百四柱の英靈合祀

列を得であす盛大な祭典

奨励に努める 関内生産量の約二割を充富 関内生産量の約二割を充富

されてゐるが小賣商の分布 を現出せしめる素 は閩相場を現出せしめる素 は閩相場を現出せしめる素 は閩相場を現出せしめるる素

因ともなり、小賣商は資本 を購る、即ち零賣と として今後小賣商を零賣と として今後小賣商を零賣と として今後小賣商を零賣と を購る、即ち零賣と比較的 が要務の二種に分けて緩和 を開る、即ち零賣と を開る。即ち零賣と

しみには官民

張總理全滿放送 市も開承認記念日を迎ふるに 京り張陶務總理は十五日午後 に時用分からこの意義ある記 を日を顧問して全済州國民に を成送を行つた「寫質はマイ の成送を行った「寫質はマイ

率納減武は参拝者の足を止め 率大気は過剰の快時に恵まれ で逝く秋が情しむ美男事女の を流れ境内に繰り促げられた と流れ境内に繰り促げられた

て終日戦隆・前く。神域一群 が変展開して大祭の夜は変け が変展開して大祭の夜は変け が変展開して大祭の夜は変け が変展開して大祭の夜は変け な新述を展開して大祭の夜は変け

在 (無計可多数) 一 (無計可多数) 一 (本) 一 (本)

承認記念

本

6

古の一部の一部では、
 古の一部では、
 古の一部の一部では、
 古の一部の一部が、
 古の一部が、
 古のに関いに関い、
 古のに関いに関い、
 古のに関い、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のに、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、
 古のには、

家庭用新型

(定債六十五

3

特價五十五圓

三中井

階

業品

特

果宣

內婦口呼慢

科病ク症病

惡腦慢動神

皮經

膚竅中硬

病弱風化痛

一共青淋耳

般他隨疾鼻

本統十六日附夕刊

K.

認

3

n

12 器

最

新

最

銳

0

治

瘀

器

C

あ

5 醫

超短波治

٤ 4

11

驚

異

的

卓効

を

全世

界

0

學界 ます

目は 除掃のネガメは度一二月 どの窓

績は昨年以上

但、競技會さしては寂寥

京忠靈塔では祭典前日の十七 なつた 忠霊塔一齊に執行されるが新 の合配祭が執行されることに 以季恒例大祭は十八日全浦各 佐藤吉甚次氏外百三柱の英璧

本監視、監察の時間は二時間乃至三時間改生三人の会に忠実にのそ位を主人の会に忠実にのそ位をを議る如く一層温楽に名を依めると、 を推り言言で終るから一層温楽に名 と作り言言で表して、主人が設める。 とというでは、主人の会に忠実にのそ位 を認るしたし を対したし を対したし を対したし を対したし を対したし を対したし を対したし を対したし を対した。 を対したし を対した。 をがした。 をがと、 をがした。 をがした。

あるから種を使用する代りに共きず指導手の直線に於して一個も最合せられたる代別に共きず指導手の直線に於て面も最合せられたる代別で変換を整しあるまで持載し得ざるが加き性様の激弱なる大阪を新しあるまでが加き性様の激弱なる大阪を動しあるまでが加き性様の激弱なる大阪

ト ることあつた場合は 動作の でネオン省の優離を促し一段 でネオン省の優離を促し一段 秋季野球リーグ

馬事思想の養養並に體位商を目指して、かねでより態務 の修練を積みつくある織務顧 の修練を積みつくある織務顧 では十六日(土曜日) で、かねでより馬衛 では十六日(土曜日) で、かれでより馬衛 交通部馬術競技

經痛

早く

よくさく

散

超

一十萬圓のラヂュ ムレントゲンに も勝る

り通街ヤイグ

仕 禮

裳衣・ラヅカ貸

術顏美線外赤

電司令官以下を 四され慶祝御宴 ではこの日午前十一時二十分日本側より梅津闘東軍司 会官、同参謀長、大津闘東周 会官、同参謀長、大津闘東周 会官、同参謀長、大津闘東周 会官、同参謀長、大津闘東周 会官、同参謀長、大津闘東周 会官、同参謀長、大津闘東周 会官、同参謀長、大津闘東周 小麥粉問題

軍警の英霊偲ぶ

遺家族戯謝の夕開催

想ひ出の十八

日

事滿變洲

同)▲解音舊次(工大佐)▲ 「大國重雄(他一)▲古川藏次 郷(步上)▲田原清三(歩伍) 人保田良一(步上)▲安田 会性(航空)▲井上一臺(歩 上)▲川西太郎(歩曹)▲管 優(歩伍)▲土岐重義、歩佐) ● (歩位)▲土岐重義、歩佐)

豊楽

申込ま

締

IJ

三自轉

イクはけ

お祭り泥棒出

戰蹟訪

問

7

ラ

十四日午後八時三十分頃西五 に取押へ方面の出た に取押へ方面の出た

首聯處理

國内粉を鋭意増産

の對策決定

足は代用粉充當

て吃驚、黒皮二つ折財布 (集 金六十騰在中)が何者かに窃 取されたのに領付き質くなつ

ース決定

訓話

ぎり

優秀な技術者を招聘しました

こん店 春川〇川田〇

かだ打直し、ミシン加工、われれ打直し、ミシン加工、わ 清洲電信電話株式 四年九月七百日 わた彩具御 會

日本 盛 食料品詰酒 八〇四

機家 械具 器什 具器

省

高個質人電話会

(日 曜 土)



いなさ汚を膝おいななら散の粉

で粧化形固な的々快

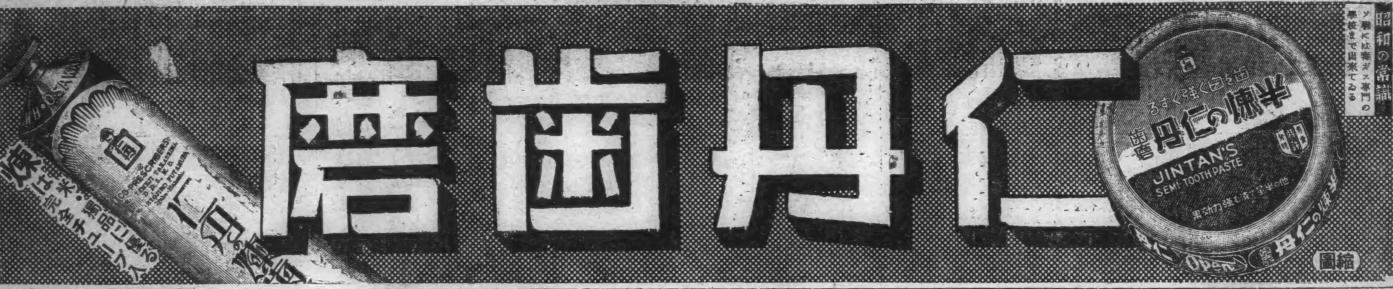
虫 美郎

な なか絶り 合配ンセルホ肌整・削主ムウニ



うせまき働と爽颯に的々快

ノ鉛白色七ンダキのひ石な的素にし形固に便至常携を粉白ナコ子粒微極いし美のキフ



湖 社

今辨慶整骨院 電○ 第三六 1 章

三笠町三一十七

大を求めたき者、共に本食へを求めたき者、共に本食への人五日通風合日 ※食結婚媒介部

女中女給募除員ボーイ其他 男女職業紹介 募集 日、満人 以イヤ街梅ケ枝町俯野ビル

変化堂

日第內 中央通り、水松接骨院中央通り、 ばねつぎ



習タイピスト養成 中前、午後、夜間 入 學 隨 時 規則書進呈 湖洲直賣所

タイプ印書

謄寫· 代書







清水堂鍼灸院

新京寶山の紅灸





電話金融 見電話店服 永樂町三ノーノ四 東 八島小野枝前 電3・8137番



印刷及帳簿 三友社 新京永樂町









粉乳無糖

に養榮のこ 完全母乳

